



住宅・不動産速報

広告特集

週刊

すみかくらぶ



VOL.621 JUNE6

毎週木曜日発行
県内全域31万部
編集・発行 上毛新聞社 広告局
(〒371-8666)前橋市古町1-50-21
TEL.027-254-9951 FAX.027-253-9999
http://www.raijin.com/sumika/
E-mail: sumika@raijin.com

家族みんなが大満足 デザイン性と快適性、機能性に優れた新居



子どもの入学を機に家づくり

「以前は埼玉県で暮らしていましたが、長男の小学校入学を機に、太田市への移住を決めました」と語る佐藤さん家族。すでに11月を過ぎていたので、土地探しとともに、工務店・ハウスメーカーまわりを急ピッチで始めた。

3ページへつづく

家族構成
夫・妻・長男・長女

表紙のつづき

家族みんなが大満足 デザイン性と快適性、機能性に優れた新居

住宅関連の情報を集め、興味を持った会社にお問い合わせを行い、週末ごとに現地を見学した。

幸いにも、建築条件付ではない土地を見つけることができた。次は家づくり。それまで佐藤さん一家が住んでいた鉄筋コンクリートの官舎は、機能性が低かった。狭い上、とにかく寒い。骨の髄まで冷えるような寒さだった。こうした点をすべて解消できる快適な住環境を手に入れることが夢だった。



▲「3、4年前、群馬へ観光で訪れた帰りに、篠田工務店の完成見学会に立ち寄ったことがあり、新築特有の薬品臭さがないこと、白の塗り壁を基調としたデザインが印象に残っていました」と語る佐藤さんご家族

プランづくりに奔走する日々

検討する時間もあまりなく、いったん他の工務店と仮契約を交わしたが、健康にも良い漆喰の塗り壁、あか抜けたデザイン性、そして予算面の総合的なバランスを考えて、篠田工務店に依頼することを決めた。「提案されたプランの詳細を固めていくため、毎週のように打ち合わせ。修正点や疑問点があればメールでやりとり。篠田工務店の家づくりは、じっくりと時間をかけてプランを固めていくやり方ですが、担当者の方をお願いして、短期間にグッと凝縮して家づくりを行うことができました」

こうした努力の結果、なんとか長男の夏休み中に引っ越すことができ、2学期に間に合った。「家の前を通りながら、女子高生たちが『こんな家に住みたいよね』と会話しているのを耳にすると、本当にうれしいですね」と奥さまが語るように、白の塗り壁と煙突を基調としたデザインは、住宅街の中にあってひときわ目を引く。



▲リビングから2階へ。思う存分飛び跳ねて遊べる環境は、子どもたちも大満足



▲ロフト付の子ども部屋。勾配天井がゆとりある空間をつくる

みんなが満足する イエストーリーの住環境

佐藤さん一家が望んだ室内環境について見てみよう。まず無垢の床材を傷めない蓄熱式床暖房システムを採用した。標準装備の木製トリプルガラスサッシは、デザインが良いだけでなく、断熱性能も高い。これだけでも十分だが、さらに薪ストーブも入れた。「ヒートショックもなく、室内は快適です。薪ストーブの炎を見ると心が安らぐんですね。新居に越してから、薪割りが趣味になりました」と佐藤さんは笑う。

リビングから2階にかけて設置されたはしごや登り棒は、二人の子どもが元気に飛び回れる最高の遊び場。「漆喰や床に傷やへこみができるのは日常茶飯事です、漆喰の傷や汚れは簡単に補修できますし、床がへこんでも水をかけておくと修復できるんですよ」と奥さま。また、漆喰の調湿効果なのか、子どものカサカサ肌が治ったそう。

一方、太田市に引っ越したため、ご主人の通勤時間は2時間になった。「快適な住環境でくつろげるし、小さいながらも夢の書斎を持つことができました。家庭菜園やガーデニングも楽しい。通勤時間は延びても、補って余りある住環境ですよ」



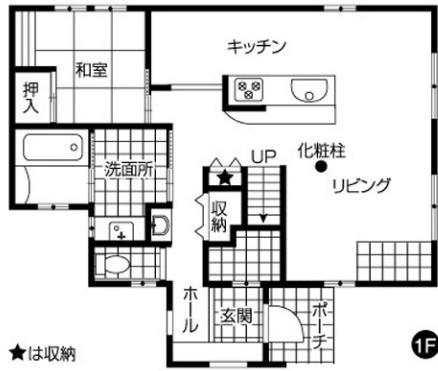
▲リビングダイニングは、漆喰の塗り壁と吹き抜け、まきストーブ、木製トリプルガラスサッシ、子どもが遊べるはしご・登り棒など、見どころが満載



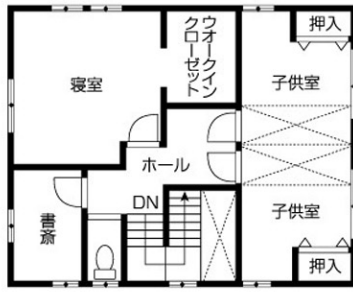
▲ご主人の夢だった書斎。コンパクトながらも実際に上に広く感じられる



▲玄関からリビングへ向かう廊下にある子ども用の洗面スペース。使い勝手は抜群だ



■ 設計／篠田建築設計事務所
■ 施工／(株)篠田工務店
■ 建築工法／木造軸組工法



■ 建築面積／65.41㎡
■ 延床面積／114.69㎡
■ 完成日／2009年8月

施工

◆iestory

株式会社

篠田工務店

前橋市六供町711 TEL.027-225-0510